

## 切り花ハボタンの無加温栽培における 12月出荷に適した品種と定植時期

施設園芸部 施設園芸チーム TEL:022-383-8122

### 研究の目的

迎春用を始め用途が広がる切り花ハボタンは、無加温ハウスで栽培できるため、生産コストが低く、新規品目の導入や遊休ハウスの活用を考える生産者に適した品目です。

しかし、宮城県では生産事例が少なく、12月に高品質な切り花ハボタンを出荷するための適切な品種と定植時期は明らかになっていませんでした。このため、県では令和5年度に、草丈60cm以上の切り花を確保するための品種ごとの定植時期を明らかにしました。さらに、より遅い時期の定植が可能になれば、ハウスの占有期間を短縮でき、多くの生産者が導入しやすくなると考えられます。そこで、本研究では従来より遅い時期での定植を検討しました。

### 研究成果

12月出荷を目標とした切り花ハボタンでは、「晴姿」、「ラッフルバニラ」、「ラッフルローズ」、「フレアローズ」については、8月29日前後の播種、9月9日前後の定植により、草丈60cm以上の株を8割以上確保できました。

また、「フレアホワイト」では、9月17日前後の播種、9月30日前後の定植で同様の結果が得られました。

これらの結果から、栽培ハウスの占有期間を従来より約1か月短縮できることが明らかとなりました。そのため、多くの生産者が導入を検討しやすくなるとともに、より低コストでの生産が可能となりました。



図1 試験ハウスの様子（12月採花時期）



図2 切り花ハボタン

### 利活用の留意点等

定植時期の判断は、播種から14日前後を目安として、本葉が3から4枚展開した頃としています。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第101号（令和8年発行）「切り花ハボタンの無加温栽培における12月出荷に適した品種と定植時期」をご覧ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res\\_center/hukyuu-index.html](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html)

